



WOWOW

## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社WOWOW 上場取引所 東  
コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山本 均  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局长 (氏名) 山口 基貴 TEL 03-4330-8080  
定時株主総会開催予定日 2025年6月19日 配当支払開始予定日 2025年6月3日  
有価証券報告書提出予定日 2025年6月20日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・記者向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

## （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	76,757	2.5	2,036	40.4	2,997	45.7	637	△41.6
2024年3月期	74,869	△2.9	1,450	△55.0	2,057	△42.0	1,092	△54.5

（注）包括利益 2025年3月期 565百万円（△79.1％） 2024年3月期 2,710百万円（18.0％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	22.59	—	0.9	3.2	2.7
2024年3月期	38.79	—	1.6	2.2	1.9

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 373百万円 2024年3月期 268百万円

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	100,499	68,034	67.7	2,407.17
2024年3月期	89,146	68,225	76.5	2,420.69

（参考）自己資本 2025年3月期 68,034百万円 2024年3月期 68,225百万円

## （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	4,344	△3,626	△927	25,723
2024年3月期	4,293	△2,755	△1,433	25,922

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	845	77.3	1.3
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	847	132.8	1.2
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		106.0	

（注）2025年3月期の期末配当金額につきましては、2025年5月16日開催の取締役会で決定致します。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	37,100	△0.7	200	△83.5	600	△62.6	100	—	3.54
通期	76,600	△0.2	700	△65.6	1,500	△50.0	800	25.4	28.31

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	28,844,400株	2024年3月期	28,844,400株
2025年3月期	581,216株	2024年3月期	659,970株
2025年3月期	28,240,433株	2024年3月期	28,158,063株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	63,657	△1.1	1,549	30.1	2,283	18.2	630	△43.4
2024年3月期	64,347	△2.9	1,191	△46.6	1,931	△31.6	1,114	△45.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	22.34	—
2024年3月期	39.57	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	90,569	59,560	65.8	2,107.34
2024年3月期	79,447	59,906	75.4	2,125.51

(参考) 自己資本 2025年3月期 59,560百万円 2024年3月期 59,906百万円

2. 2026年3月期の個別業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	30,100	△4.9	500	△63.1	100	△133.2	3.54
通期	62,300	△2.1	900	△60.6	400	△36.6	14.15

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	16
(企業結合等関係) .....	16
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	18
販売の状況 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績（2024年4月1日～2025年3月31日）

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や引き続き好調なインバウンド需要を背景に、緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、物価上昇による家計の負担増や世界経済の動向に対する不確実性の高まりなど、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境の下、当連結会計年度における当社グループの業績は、会員収入が減少したものの、映画事業や番組販売等その他収入の増加や、グループ会社の売上が増加したこと等により、売上高は767億57百万円と前期に比べ18億87百万円（2.5%）の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、効率的な費用投下を行ったこと等により、20億36百万円と前期に比べ5億85百万円（40.4%）の増益、経常利益は29億97百万円と前期に比べ9億39百万円（45.7%）の増益となりました。

しかしながら、4Kチャンネル「WOWOW 4K」の放送サービス終了及びコンテンツ情報統合管理システムの開発中止決定による減損損失に加え、当社の連結子会社であるフロストインターナショナルコーポレーション(株)におけるのれんおよび無形固定資産について、直近の業績動向等を踏まえ将来の回収可能性を検討の結果、減損損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は6億37百万円と前期に比べ4億54百万円（△41.6%）の減益となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

#### <メディア・コンテンツ>

当連結会計年度は、興行収入約30億円を記録したWOWOW FILMS『ゴールデンカムイ』の続編である「連続ドラマW ゴールデンカムイ 北海道刺青囚人争奪編―」を放送・配信したほか、「UEFA EURO 2024TM サッカー欧州選手権」、「欧州サッカー UEFAチャンピオンズリーグ」、「LPGA女子ゴルフツアー」、テニスのグランドスラム4大会等のスポーツコンテンツ、SUMMER SONIC 2024やWEST.、COMPLEX等の人気アーティストの音楽ライブ等が新規加入を牽引しました。また、当社が配信しているスポーツコンテンツを、外部プラットフォームで視聴できる新サービス「WOWSPO」を、2024年4月よりABEMA、同年12月よりPrime Videoのサブスクリプションにて開始したことで、若年層の会員獲得に繋がりました。

しかしながら、他社の動画配信サービスとの競争激化、目的番組の終了による解約件数増加の影響等により、正味加入件数は純減と厳しい結果となりました。

一方で、メディア・サービス（放送・配信サービス）の構造改革や、新サービスの開発による、新たな収益の創出等の取り組みで、収益の向上を図りました。

メディア・サービス（放送・配信サービス）の構造改革においては、4Kチャンネル「WOWOW 4K」の放送サービス終了により不採算事業の撤退を行なったほか、「ユーロ2024+CL・EL 2024-25 シーズンパス」などを、TVOD（都度課金制）サービス「WOWOWオンデマンドPPV」にて販売しました。

新サービスの開発による、新たな収益の創出においては、コンテンツを軸とした多層サービスの開発・提供を行ないました。2024年11月に劇場版公開した『WEST. 10th Anniversary Live “W” ―Film edition―』は、興行収入5億円を超えるヒットとなりました。そのほか全国のイオンシネマで「UEFAチャンピオンズリーグ」のライブビューイングや、スピッツ初の大規模展覧会「SPITZ, NOW! ～ロック大陸の物語展～ Special Supporter マイナビ」の開催、ECサイト「wowshop」にてオリジナルコンテンツやスポーツコンテンツ等のグッズ、料理道具やおせち等のライフスタイルを提案する商品等の販売を行ないました。また新規事業として、海外作品の日本国内での撮影を請け負うプロダクションサービス事業に参入するためWOWOW BRIDGE(同)を設立し、米国の大手スタジオ・スカイダンスが手がけ、Apple TV+で配信予定のドラマ「Neuromancer」や、当社では2025年夏放送予定、米国ではCBSで放送されるユニバーサル・テレビジョン制作の「FBI: インターナショナル」のプロダクションサービス業務を受注しました。

以上の結果、当連結会計年度におけるメディア・コンテンツセグメントの売上高は、704億72百万円と前期に比べ7億99百万円（1.1%）の増収、セグメント利益は22億65百万円と前期に比べ6億51百万円（40.4%）の増益となりました。

当連結会計年度の加入状況は次表のとおりとなりました。

（単位：件）

	第40期 2024年3月期	第41期 2025年3月期	対前年差	対前年増減率
新規加入件数	625,993	704,674	78,681	12.6%
解約件数	718,433	812,074	93,641	13.0%
正味加入件数	△92,440	△107,400	△14,960	—
累計正味加入件数	2,467,112	2,359,712	△107,400	△4.4%
内) 複数契約(注)1	337,228	315,599	△21,629	△6.4%
内) 宿泊施設契約(注)2	84,501	88,981	4,480	5.3%

- (注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。
2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

#### <テレマーケティング>

当連結会計年度は、前連結会計年度に当社グループに加わりましたフロストインターナショナルコーポレーション㈱の売上が通期で寄与いたしましたこと等により、売上高は99億25百万円と前期に比べ5億21百万円（5.6%）の増収となりました。しかしながら、費用面で、当連結会計年度に実施した㈱c i n r aの買収による取得費用の発生等により、セグメント損失は2億29百万円（前期はセグメント損失1億62百万円）となりました。

#### ② 次期の見通し（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループを取り巻く事業環境は、放送業界全体が縮減傾向にある中、他社の動画配信サービスの台頭によるコンテンツ及び会員の獲得競争の激化、業界内の合従連衡の活発化等により、年々厳しさが増しております。

このような環境の下、メディア・サービス事業における正味加入者数減少のトレンドは6期に渡り、会員基盤と売上高の縮小傾向が継続しております。

2025年度はこれらの諸課題に対処し、中長期的な成長に向けた収益構造の転換を早期に実現するため、既存の10年戦略と中期経営計画（2021-2025年度）をより進化させた、新しい中期経営計画（2025-2029年度）を策定し、「会員の日常に“夢中”を提供する企業」への進化を目指した新たなビジネスモデルの構築に取り組むべく、各事業領域において次の取組みを推進してまいります。

##### ■会員領域

##### メディア・サービス領域

- ・自社プラットフォームでの新たな配信サービスの開始
- ・放送領域のコスト削減、効率化の推進

##### コマース・イベント領域

- ・自社ECプラットフォームのグランドオープン及びコマース事業規模拡大
- ・エンターテインメント領域での会員向け多層サービス推進
- ・ライフスタイル領域での新規事業開発の推進

##### ■会員領域以外

- ・グループ機能の整備・集約の検討と実行
- ・グループの営業シナジーの推進による外部売上拡大

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高766億円（前期比0.2%減）、営業利益7億円（同65.6%減）、経常利益15億円（同50.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益8億円（同25.4%増）を見込んでおります。加入件数は、期末累計正味加入件数226万件を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当連結会計年度末の総資産は1,004億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億52百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で番組勘定等が増加したことによるものです。

（負債）

負債は324億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ115億44百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金、未払金等が増加したことによるものです。

（純資産）

純資産は680億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億91百万円の減少となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金等が減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、257億23百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は43億44百万円（前期同期は42億93百万円の収入）となりました。主な増加要因は、減価償却費34億39百万円、減損損失23億55百万円及び仕入債務の増加額111億43百万円であり、主な減少要因は、棚卸資産の増加額131億96百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は36億26百万円（前年同期は27億55百万円の使用）となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出60億43百万円及び有形固定資産の取得による支出20億32百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は9億27百万円（前年同期は14億33百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額8億45百万円です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,334	28,751
受取手形、売掛金及び契約資産	5,618	5,600
商品及び製品	17	82
番組勘定	18,448	31,597
仕掛品	38	34
貯蔵品	46	42
前払費用	1,531	1,131
その他	1,611	2,297
貸倒引当金	△112	△26
流動資産合計	55,534	69,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,509	9,860
減価償却累計額	△5,364	△5,630
建物及び構築物（純額）	4,144	4,229
機械及び装置	16,256	15,419
減価償却累計額	△12,373	△12,460
機械及び装置（純額）	3,883	2,959
工具、器具及び備品	5,211	5,139
減価償却累計額	△3,642	△3,802
工具、器具及び備品（純額）	1,568	1,337
建設仮勘定	304	226
その他（純額）	45	71
有形固定資産合計	9,947	8,824
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
ソフトウェア	3,343	2,346
その他	876	561
無形固定資産合計	9,231	7,918
投資その他の資産		
投資有価証券	3,570	3,076
関係会社株式	8,815	9,265
繰延税金資産	942	877
敷金及び保証金	704	650
その他	424	479
貸倒引当金	△24	△105
投資その他の資産合計	14,433	14,244
固定資産合計	33,612	30,988
資産合計	89,146	100,499



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,255	23,120
未払金	1,059	1,623
未払費用	3,705	3,257
未払法人税等	257	252
賞与引当金	60	70
その他	1,330	2,047
流動負債合計	18,669	30,372
固定負債		
役員退職慰労引当金	—	30
退職給付に係る負債	1,877	1,779
その他	374	282
固定負債合計	2,251	2,092
負債合計	20,920	32,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,212	3,192
利益剰余金	58,904	58,697
自己株式	△897	△789
株主資本合計	66,219	66,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,842	1,638
繰延ヘッジ損益	145	152
退職給付に係る調整累計額	17	142
その他の包括利益累計額合計	2,006	1,933
純資産合計	68,225	68,034
負債純資産合計	89,146	100,499



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	74,869	76,757
売上原価	50,453	52,066
売上総利益	24,416	24,690
販売費及び一般管理費	22,965	22,654
営業利益	1,450	2,036
営業外収益		
受取利息	72	92
受取配当金	56	65
為替差益	258	487
持分法による投資利益	268	373
移転補償金	—	153
その他	64	46
営業外収益合計	721	1,219
営業外費用		
支払手数料	27	56
支払保証料	18	40
事業所移転費用	—	117
その他	67	42
営業外費用合計	113	257
経常利益	2,057	2,997
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	—	381
特別利益合計	5	382
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	34	32
減損損失	70	2,355
投資有価証券評価損	101	172
特別損失合計	206	2,560
税金等調整前当期純利益	1,856	819
法人税、住民税及び事業税	443	424
法人税等調整額	320	△242
法人税等合計	764	181
当期純利益	1,092	637
親会社株主に帰属する当期純利益	1,092	637

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
当期純利益	1,092	637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,526	△204
繰延ヘッジ損益	89	△15
退職給付に係る調整額	△11	124
持分法適用会社に対する持分相当額	13	23
その他の包括利益合計	1,618	△72
包括利益	2,710	565
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	2,710	565

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,230	59,217	△1,008	66,440
当期変動額					
剰余金の配当			△1,405		△1,405
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,092		1,092
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△18		110	92
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△18	△312	110	△220
当期末残高	5,000	3,212	58,904	△897	66,219

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	316	42	29	387	66,828
当期変動額					
剰余金の配当					△1,405
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,092
自己株式の取得					—
自己株式の処分					92
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	1,526	102	△11	1,618	1,618
当期変動額合計	1,526	102	△11	1,618	1,397
当期末残高	1,842	145	17	2,006	68,225

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,212	58,904	△897	66,219
当期変動額					
剰余金の配当			△845		△845
親会社株主に帰属する 当期純利益			637		637
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△19		108	88
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△19	△207	108	△118
当期末残高	5,000	3,192	58,697	△789	66,100

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,842	145	17	2,006	68,225
当期変動額					
剰余金の配当					△845
親会社株主に帰属する 当期純利益					637
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					88
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△204	7	124	△72	△72
当期変動額合計	△204	7	124	△72	△191
当期末残高	1,638	152	142	1,933	68,034

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,856	819
減価償却費	4,009	3,439
のれん償却額	16	49
減損損失	70	2,355
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	82
受取利息及び受取配当金	△128	△158
為替差損益 (△は益)	△389	68
持分法による投資損益 (△は益)	△221	△319
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△381
投資有価証券評価損益 (△は益)	101	172
売上債権の増減額 (△は増加)	954	233
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,168	△13,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,368	11,143
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△197	468
その他	552	△146
小計	4,431	4,629
利息及び配当金の受取額	119	158
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△256	△442
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,293	4,344
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,809	△6,043
定期預金の払戻による収入	4,666	5,348
有形固定資産の取得による支出	△1,300	△2,032
無形固定資産の取得による支出	△1,581	△998
投資有価証券の取得による支出	△424	△423
投資有価証券の売却による収入	0	939
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△500	△433
その他	194	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,755	△3,626
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9	△52
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19	△29
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,405	△845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,433	△927
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	165	△199
現金及び現金同等物の期首残高	25,757	25,922
現金及び現金同等物の期末残高	25,922	25,723

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、本国(日本)において番組を制作・調達し、BS(放送衛星)により有料でテレビ放送を行うことを軸に、ケーブルテレビ、CS(通信衛星)放送やIPTVでもサービスを提供しております。また、2021年から動画配信サービス「WOWOWオンデマンド」を提供しております。当該サービスの一つとして当社の連結子会社である㈱WOWOWコミュニケーションズが当社及び外部から委託を受け、当社の顧客管理業務及びテレマーケティング業務を行っております。当社の顧客管理業務については当社戦略に基づき、テレマーケティング業務に関しては、㈱WOWOWコミュニケーションズを中心に、当社の連結子会社であるフロストインターナショナルコーポレーション㈱、㈱cinra各社が独自の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループは、主として有料でテレビ放送する事業に係るサービスを行う「メディア・コンテンツ」、当該サービスに係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,669	5,200	74,869	—	74,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	4,203	4,206	△4,206	—
計	69,673	9,403	79,076	△4,206	74,869
セグメント利益又は損失 (△)	1,613	△162	1,450	0	1,450
セグメント資産	83,688	6,165	89,854	△707	89,146
その他の項目					
減価償却費	3,368	183	3,551	—	3,551
のれんの償却額	—	16	16	—	16
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,332	198	2,530	—	2,530

(注) 1. セグメント資産の調整額△707百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,465	6,291	76,757	—	76,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	3,633	3,641	△3,641	—
計	70,472	9,925	80,398	△3,641	76,757
セグメント利益又は損失 (△)	2,265	△229	2,035	0	2,036
セグメント資産	94,190	6,724	100,914	△415	100,499
その他の項目					
減価償却費	3,170	268	3,439	—	3,439
のれんの償却額	—	49	49	—	49
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,555	579	3,135	—	3,135

(注) 1. セグメント資産の調整額△415百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものはありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものはありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
減損損失	70	—	—	70

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
減損損失	1,769	586	—	2,355

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
当期償却額	—	16	—	16
当期末残高	—	312	—	312

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
当期償却額	—	49	—	49
当期末残高	—	289	—	289

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,420.69円	2,407.17円
1株当たり当期純利益	38.79円	22.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,092百万円	637百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	1,092百万円	637百万円
期中平均株式数	28,158,063株	28,240,433株

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

当社の連結子会社である(株)WOWOWコミュニケーションズは、2024年10月1日開催の取締役会において、(株)c i n r aの全株式を取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：(株)c i n r a

事業の内容：自社メディアの企画運営、Webサイトの広告の企画・制作、イベント企画、動画制作など

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、中長期的な成長の実現を目指すため、2023年3月より既存事業の強化や新規事業創出等を目的とした投資を開始しております。今回、(株)c i n r aを当社グループに迎え入れることにより、デジタルマーケティングのさらなる成長と事業価値の最大化が見込めると判断し、株式取得を決定しました。

## (3) 企業結合日

2024年10月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

結合前から変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社が現金を対価として、株式を取得したことによるものです。

## 2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

被取得企業の連結決算日は9月30日ですが、12月31日で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。ただし、1月1日から連結決算日3月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。本企业結合の企業結合日は2024年10月1日であり、連結損益計算書には、2024年10月1日から2024年12月31日までの期間の被取得企業の業績が含まれております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	593百万円
取得原価		593百万円

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 67百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

297百万円

当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っております。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

9年間にわたって均等償却いたします。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	393百万円
固定資産	147
資産合計	540
流動負債	177
固定負債	67
負債合計	245

7. 取得原価のうちのれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別内訳並びに償却期間

主要な種類別内訳	金額	償却期間
顧客関連資産（顧客関係）	93百万円	6年
顧客関連資産（受注残）	16	0.5年
無形固定資産合計	109	

8. 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす

影響の概算額及びその算定方法

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 販売の状況

当連結会計年度における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（百万円）	対前年増減率（％）
メディア・コンテンツ	70,465	1.1
テレマーケティング	6,291	21.0
合計	76,757	2.5

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 2. 主要な販売の相手先は一般視聴者であり、主な相手先別に記載するべきものではありません。  
 3. メディア・コンテンツセグメントには会員収入58,541百万円を含んでおります。